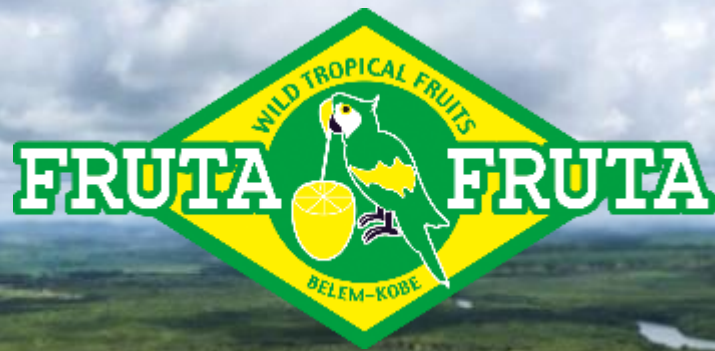


A vibrant, stylized illustration of a tropical jungle. The scene is filled with various types of palm trees and lush green foliage. In the sky, three parrots are shown in flight: a red one on the left, a green one in the center, and a blue and yellow one on the right. A toucan with a large black and white beak is perched on a palm tree on the right. Two monkeys are visible: one hanging from a branch in the center and another on the ground on the left. A jaguar is walking on the ground in the lower center. Two people are depicted: one on the left wearing a hat and holding a basket, and another on the right holding a large bunch of dark fruit. The overall style is flat and colorful, with a light blue sky and white clouds.

2025年3月期 通期決算補足説明資料

株式会社フルッタフルッタ（証券コード:2586）
2025年5月15日



Our Philosophy

自然と共に生きる

フルッタフルッタが目指すのは、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現です。アグロフォレストリーはそのソリューションの一つであり、私たちはその恵みであるアマゾンフルーツを革新的な商品にかえてお届けし、アグロフォレストリーの発展に貢献するとともに、お客様に本物の美と健康をご提供してまいります。

Our Purpose

自然資本主義

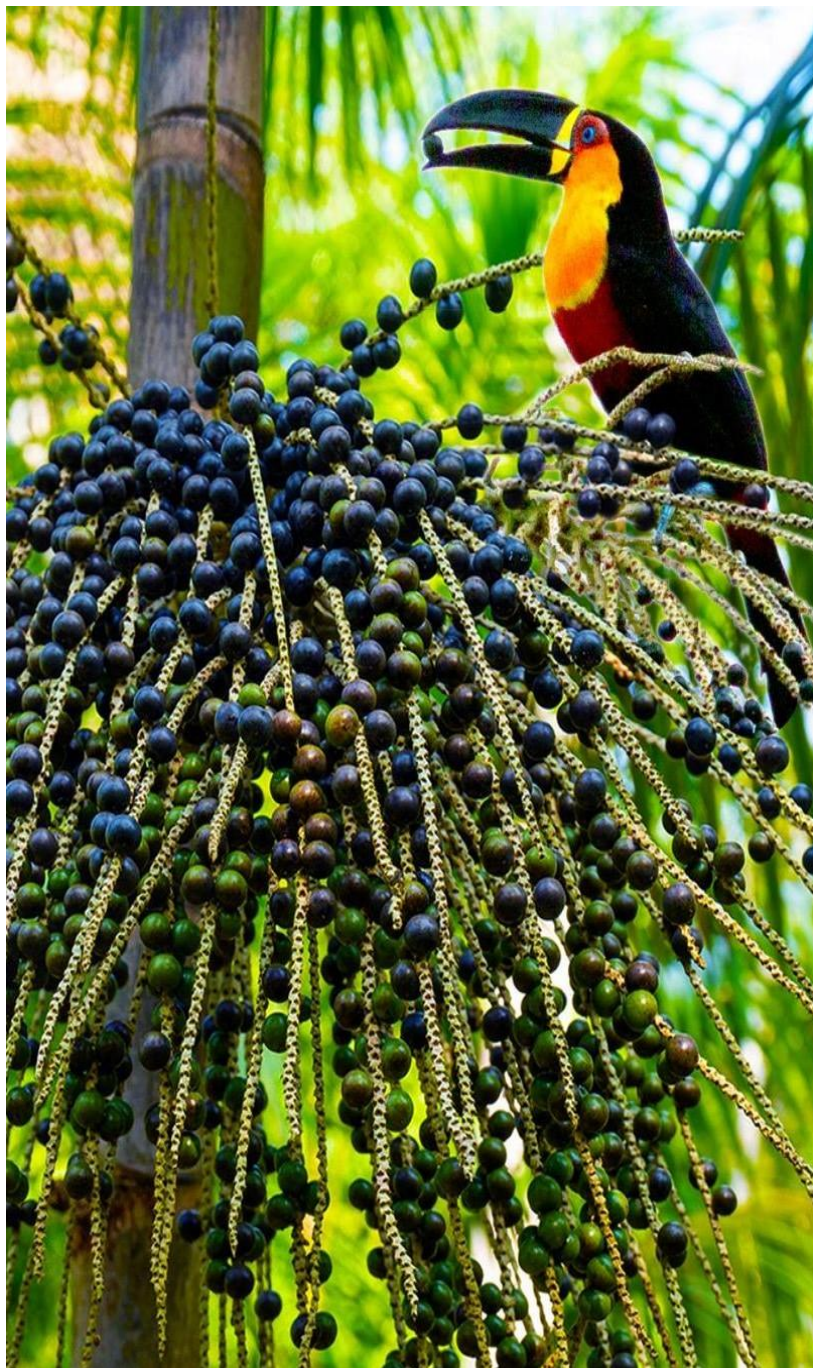
ブラジル・アマゾンに渡った日本人移民が創立したトメアス総合農業協同組合(CAMTA)と出会い、彼らが確立した栽培手法である「トメアス式アグロフォレストリー」(混農林法)に当社の長澤が共鳴したことが創業のきっかけです。

アグロフォレストリーの拡大を促し、荒廃地を緑に変えていきたい。森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現を目指します。



アグロフォレストリーは 『生物多様性』と『CO₂削減』を両立する ソリューション

「ネイチャーポジティブ」は、企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑え「生物の多様性を維持する」という従来の発想から大きく踏み込んで、「生物多様性を含めた自然資本を回復させる」ことを目指す新たな概念であり、近年、企業経営において重要性を増しています。



CONTENTS

P05-10

01 通期決算ハイライト

P11-16

02 主なTOPICS

P17-22

03 今後の見通し

P23-25

04 中長期的な取組みの進捗

P26-29

05 サステナビリティの取組み

P30-40

06 アグロフォレストリーへの取組み



売上高は前年同期比226.2%となり、営業利益以下の各利益も黒字化し、利益体質への変革を達成いたしました。

売上高

2,549 百万円

前年
同期比 226.2 %

営業利益

229 百万円

前年
同期比 +492 百万円

経常利益

234 百万円

前年
同期比 +541 百万円

当期純利益

270 百万円

前年
同期比 +577 百万円

－ ポイント

- ① リテール事業、業務用事業、ダイレクトマーケティング事業のいずれの事業部門においても大きな伸びを示す。
- ② 主力のアサイー関連製品の販売拡大に注力。採算性が高い商品を販売強化する施策が奏功。
- ③ 商品へCO₂削減マーク記載をしていたことにより、大手外食チェーンでのサステナブルなスイーツへ当社のアサイーが継続採用。地球環境に貢献する付加価値型原料としても注目を集め支持を獲得。



アサイー関連商品が引き続き好調であり、大手外食企業での原料採用が進んだこと及び自社ECの売上拡大が大きく貢献。新規収穫のアサイー原料が国内へ到着し、十分な供給量の回復により、需要増加に応えたことで黒字化を達成。

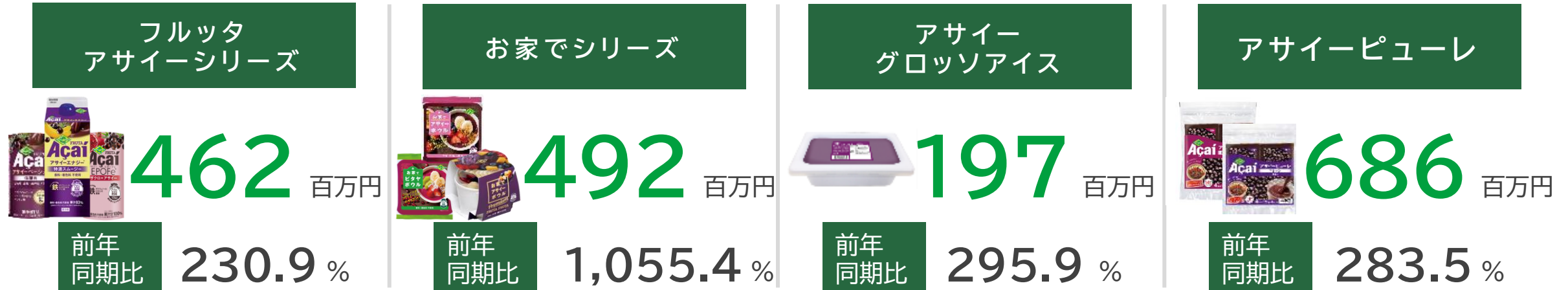
	2024年3月期		2025年3月期		対前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	1,136	100.0%	2,549	100.0%	+1,412	124.2%
売上総利益	356	31.3%	960	37.6%	+603	169.4%
販売費及び一般管理費	619	54.5%	730	28.6%	+110	17.9%
営業利益及び営業損失(△)	△263	-	229	9.0%	+492	-
経常利益及び経常損失(△)	△307	-	234	9.1%	+541	-
当期純利益及び当期純損失(△)	△306	-	270	10.6%	+577	-

※2025年3月期実績の当期純利益には、法人税等調整額75百万円を含みます。

業務用事業部門が前年同期比271.2%と大幅伸長し、通期で最大売上部門となりました。
リテール事業部門、DM事業部門前年同期比199%と大きく伸長し売上高増収に貢献。

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績	前年同期比 (増減額)	
(百万円)				
売上高	1,136	2,549	224.2% (+1,412)	
リテール	548	1,096	199.8% (+547)	- 家庭で簡単にアサイーを楽しむことを促進 - 新たに『ピタヤスムージー』を小売店、量販店で順次発売開始
業務用	417	1,132	271.2% (+714)	- 大手カフェチェーンやレストランチェーンに採用 - サステナブルフードとしてCO₂削減に対する意識の高まり
DM	151	301	199.0% (+150)	
海外	18	18	△1.4% (△0)	「お家でピタヤボウル」も、健康効果が期待される注目商品となる 「お家でアサイーボウル7パック」が売上高を牽引

商品をお得にお届けする継続購入施策などを行っている自社ECサイトで、シリーズ大ヒット商品である「お家でアサイーボウル」を7日間セットにした「お家でアサイーボウル7パック」が貢献し、お家でシリーズは前年同期比1,055.4%と大伸長。



－ ポイント

- 1 アサイーをさらに日常の中に取り入れる動きを加速させる取り組みとして、アサイーとヨーグルトの組み合わせを積極的に提案しクロスセルの販売施策を展開。
- 2 当社事業の根幹であるアグロフォレストリー原料及び商品を各企業が採用する関心の高さが表れる。
- 3 自らの行動で環境や社会課題の解決に貢献するといった志向が強いZ世代のサステナブル・エシカル消費が関係しており、消費のあり方を変えようとする力が後押しとなる。



売上高増加による営業キャッシュフローの改善並びに第15回新株予約権の権利行使及び行使完了により総資産が1,903百万円増加。自己資本比率も83.2%と24.1pt増加いたしました。

(百万円)	2024年3月末	2025年3月末	増減	主な理由
流動資産	1,015	3,404	+2,388	現金及び預金並びに棚卸資産の増加
現金及び預金	337	1,886	+1,509	営業CFの改善、新株予約権行使による増加
固定資産	629	143	△485	投資有価証券(株式会社REVOLUTIONの普通株式)の売却による減少
総資産	1,644	3,547	+1,903	
流動負債	665	588	△76	借入金の減少、未払法人税等の増加
固定負債	3	3	0	
純資産	975	2,955	+1,980	新株予約権行使による資本金の増加
自己資本比率	59.1%	83.2%	+24.1pt	



サステナブルな消費への関心の高まりから、地球環境や社会に配慮し、持続可能な食のあり方を追求したメニューが国内外の多くの企業に積極的に取り入れられる。

カッパクリエイト社 かっぱ寿司での『サステナスイーツ』にCO2削減マークを使用



※<https://www.kappasushi.jp/cp/2025/acai>

当社個店向け業務用卸サイトBIZWEBでサステナメニューレシピ特集を公開



※<https://frutafrutabiz.bcart.jp/page/amazonfruits-recipe>

アサイーとヨーグルトの組み合わせを積極的に提案し、クロスセルの販売を実現させるべく、「飲む」だけでなく「食べる」目的でも家庭で簡単にアサイーを楽しめることを訴求

いつものヨーグルトに!!
#アサイーヨーグルトボウル



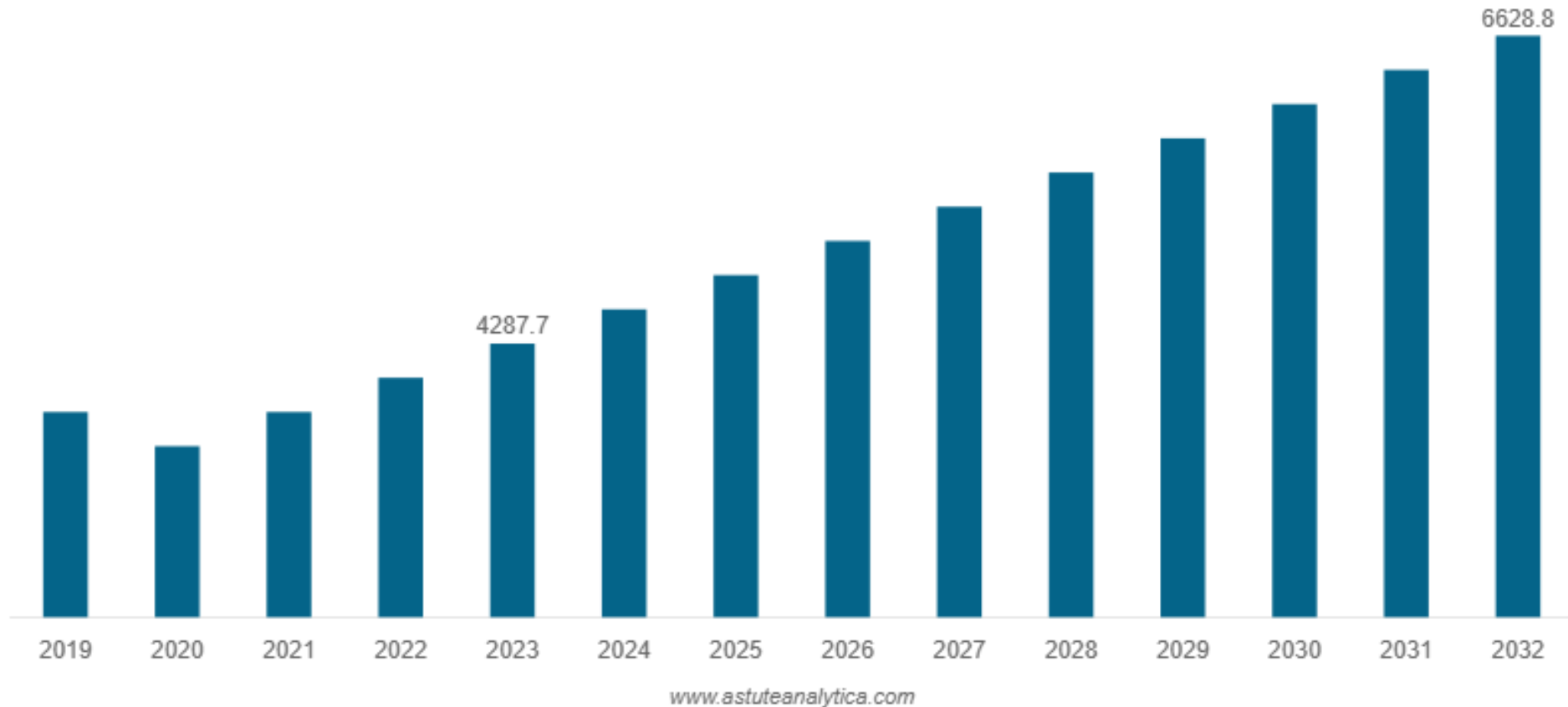
Day5

朝食や軽食にぴったり!
ヨーグルトにかけて、フルーツをトッピング



2023年6月頃から「お家でピタヤボウル」や「冷凍ピューレ ピタヤ」などのピタヤ商品の人気が拡大中。
世界のピタヤ市場は2023年に42億8,770万米ドルと評価され、2032年までに66億2,880万米ドルの収益を生み出すと予測されている。(CAGR:4.96%)

Global Pitaya Market Size, 2019-2032 (USD Million)



※Astute Analytica『ピタヤ市場 - 2032年までの業界ダイナミクス、市場規模、および機会予測』
<https://www.astuteanalytica.com/ja/industry-report/pitaya-market>

お家でシリーズの中でアサイーと姉妹品である「お家でピタヤボウル」。
色彩鮮やかで視覚的にも楽しむことができ、 α -トコフェロールよりもベタシアニン類の方が高い抗酸化作用を示した
という報告があるほど、健康効果が期待される注目商品。

Ouchi de Pitaya



簡単！美味しい！楽しい！

お家で ピタヤ ボウル

ピタヤ×ザクロが
この1袋で手軽に！

ピタヤはポリフェノールや葉酸等の
栄養で知られるスーパーフルーツ。
流水解凍し、トッピングをのせるだけで、
簡単にピタヤボウルを作ることができます♪



別名「ドラゴンフルーツ」
鉄やマグネシウムなどのミネラル分が豊富で、レッドピ
タヤのビビッドなピンク色は赤色の色素であるベタシ
アニンや、女性に嬉しい葉酸や食物繊維も含むのが特
徴です。

甘酸っぱくてクセになる味わいは、体も思わず欲しがるようなナチュラルなおしさ。
毎日のキレイと元気をチャージする、新しい習慣としてスムージータイプが新登場。





財務体質の強化に一定の成果が得られつつあり、2018年3月期より7期ぶりに継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

売上高の増加

(前年同期比) **156.8 %**

(2025年3月期 実績) **2,549** 百万円

(2026年3月期 予想) **4,000** 百万円

営業利益の増加

(前年同期比) **142.5 %**

(2025年3月期 実績) **229** 百万円

(2026年3月期 予想) **400** 百万円

資金調達※

第12回、第13回、第14回
新株予約権の行使により
今後見込まれる資金調達額

+1,527 百万円

－ ポイント

- ① 2025年3月期は当期純利益270百万円を計上。
継続的な営業損失の発生を解消し、**利益体質への転換を達成**。
- ② 2025年3月期の現金及び預金は1,886百万円となる。
残存する新株予約権の行使による資金調達も見込めるため、**財務体質の強化に一定の成果**を得る。
- ③ 2026年3月期における業績予想は、売上高4,000百万円、営業利益400百万円、当期純利益300百万円となり、**資金繰り上の懸念解消や収益改善が見込めるため重要な不確実性は認められないと判断**。

※2024年6月14日公表の「資金使途の変更に関するお知らせ」にて公表した調達見込み金額から2025年5月10日現在調達済み額を差し引き計算しております。
各新株予約権の詳細につきましては、2023年11月13日公表の「第11回乃至第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行、第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。



前述のトレンドをとらえ拡大させることによって、売上高、各利益は過去最高となる見通し

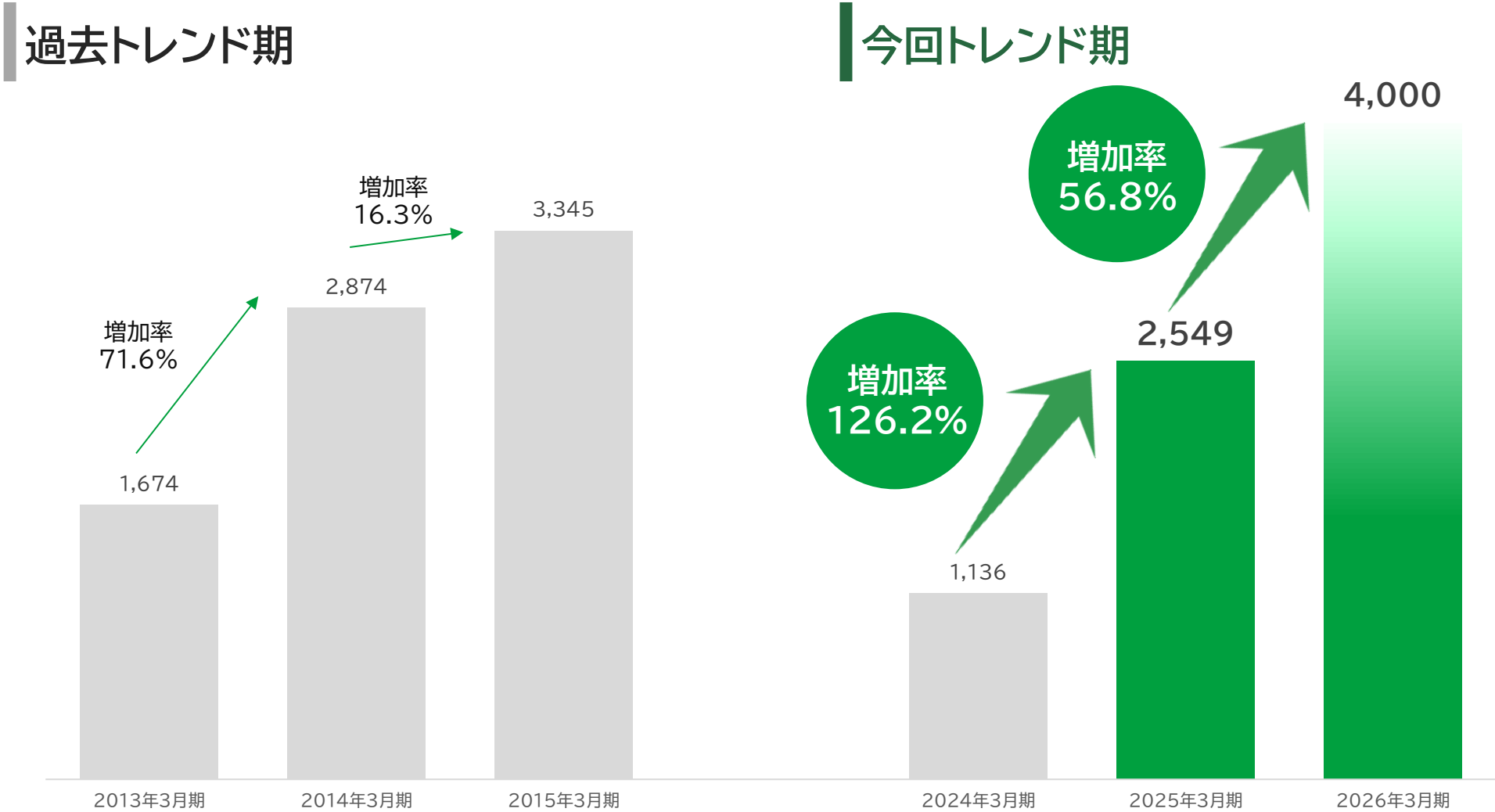
	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		対前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	2,549	100.0%	4,000	100.0%	+1,450	56.8%
営業利益	229	9.0%	400	10.0%	+170	74.1%
経常利益	234	9.2%	370	9.2%	+135	57.9%
当期純利益	270	10.6%	300	7.5%	+29	10.7%

※2025年3月期実績の当期純利益には、法人税等調整額75百万円を含みます。
※2026年3月期予想の当期純利益には、法人税・住民税及び事業税までを含み、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性が見込まれる部分について検討している段階であることから法人税等調整額は含みません。



2026年3月期は引き続きトレンドをさらに拡大させ、過去トレンド期を超えるのびしろが見込まれる

(百万円)





手のひらに、ちょうどいい贅沢。

そのまま食べるだけではなく、自分でカスタムする楽しさや、家庭で手軽にアサイーボウルを作り日常的に食事として食べられる環境を提供するために2025年4月より発売を開始。



A large, faded version of the FRUTA logo is centered in the background. It features the same diamond shape with the word "FRUTA" on either side of a central graphic. The central graphic includes a map of Brazil and the text "WILD TROPICAL FRUITS" and "BELEM-KOBE".

04

中長期的な取組みの進捗



01 中長期的計画の進捗

アサイーの事業展開

日常的に家庭でアサイーを楽しむことを加速させるべく、アサイー×ヨーグルトのクロスセル施策やお家でアサイーボウルSの新商品で拡大を狙う

サステナブルマッチングプラットフォーム

2025年11月のCOP30までのローンチを目標として、プラットフォーム開発に関するロードマップに沿って実開発を進行中

02 調達済み金額と資金の充当状況

(百万円)

資金使途	調達予定額	資金調達額	充当額	未充当額
生産拠点及び生産設備並びに倉庫の確保の費用	900	1,838	0	1,317
出店費用	422		0	
原材料の調達費用	1,443		505	
普及活動及びプロモーション費用	250		7	
プラットフォームの構築及び維持	200		7	
サステナブルマッチングプラットフォームのPR	150		0	
合計	3,365	1,838	521	1,317

当社の株価動向により本新株予約権による調達金額が当初の想定を上回る進行となったこと及びアサイーの国内需要の動向を見ながら資金使途、優先順位、支出時期等を検討することが適切であるとした結果、「アサイー原材料の調達費用」及び「普及活動及びプロモーション費用」へ充当いたしました。

(1)今後の具体的な計画やその進捗については、事業計画及び成長可能性に関する事項及び、適時開示にて開示してまいります。



03 各新株予約権行使の進捗状況 (1)

新株予約権	発行数 (個)	行使数 (個)	未行使数 (個)	行使割合 (%)
第11回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第12回新株予約権	182,400	0	182,400	—
第13回新株予約権	182,400	0	182,400	—
第14回新株予約権	187,000	0	187,000	0
第15回新株予約権	187,000	187,000	0	100.0
合計	921,200	369,400	551,800	40.0

第11回新株予約権は、2024年9月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2024年9月2日公表の「第三者割当による第11回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第15回新株予約権は随時行使型新株予約権であり、行使期間を2023年12月18日(当日を含む。)から2030年12月17日(当日を含む。)までとしています。また、本新株予約権は2025年2月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年2月3日公表の「第三者割当による第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

各新株予約権の詳細につきましては、2023年11月13日公表の「第11回乃至第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行、第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」及び2024年6月14日公表の「資金使途の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(1) 2025年5月14日時点

A large, light gray watermark of the FRUTA logo is centered in the background. It features the text "WILD TROPICAL FRUITS" at the top, "FRUTA" on the left and right, and "BELEM-KOBE" at the bottom. In the center is a green circle with a yellow fruit and a green leaf.

05

サステナビリティの取組み

アグロフォレストリー原料の使用を通して、累計450,000トンのCO₂削減を目指します。 (1)

フルッタフルッタでは、アグロフォレストリーの多様性栽培に関わることで、これまで経済の通例であったモノカルチャー栽培が如何に自然と逆行する手法であったかを痛感させられてきました。そして、従来の農業が自然資本を搾取する経済活動であったのに対し、アグロフォレストリーは自然資本を保全し回復させる未来型の農法といえます。

従来の資本主義に対し、限りある自然資本を中心に据えたのが「自然資本主義」です。 (2)
その生産性の改善と回復に重点を置いた新しい資本主義といえます。

私たちは、事業活動を通してアグロフォレストリーの発展に貢献していく中で、アグロフォレストリー概念ともいえる「自然と共に生きる」を広め、この新しい経済メカニズムを日本国内及び世界に提唱し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会を実現することを目指し、上記目標設定と致しました。



(1)目標値は、中長期計画で見通している2031年3月期までの売上高(取引高)から算出したアグロフォレストリー原料の調達量に基づき、そこから得られるCO₂削減量を創業時から累計して算出しています。

なお、2024年5月末時点では63,000tを削減している見込みです。

(2)自然資本:植物、動物、土壌、鉱物、水、大気など、自然によって形成される資源のこと

飲料業界では初となるCO₂削減量を可視化した「CO₂削減量マーク」を展開。(1)
近年特に重要な課題となっている「責任ある調達(サステナブル調達)」に対応した付加価値型原料として認知拡大。

CO₂削減の取組み

2022年6月～CO₂削減マークを作成し、
自社EC内でポイントプログラム・会員ランクを実施。



商品ごとのCO₂削減量の算出を行い、
2023年3月から新商品に表示開始。既存品も順次切替を実施。



- 様々な植物から成り立つアグロフォレストリーを表現
- 製品に使用しているアグロフォレストリー原料に合わせたCO₂削減量を表示

サステナブルカカオ豆

2023年3月期は合計400tを輸入。
CO₂削減量に換算すると1,800tとなる。

児童労働問題などにより、サステナブル原料として注目が集まっている。

サステナブルな原料を使用したいメーカーや小売業からの問い合わせもあり注目の兆し。



自社品からスタートし、他社品へのCO₂削減量表示にまで発展しており、今後も表示を推進してまいります。



06

アグロフォレストリーへの取組み

アマゾンで生まれた、自然と共に生きる農業。人間の手で壊した自然環境は、人間の手できちんと修復する。
GPIの流れに沿う形で、当社の大切なテーマを実現へと取組みを進めていく。



(1)

2025年11月に第30回国連気候変動枠組み条約締結国会議（COP30）がブラジル北部パラ州の州都ベレンで開催予定

アマゾン地域でのCOP開催で、
ブラジルは世界に環境重視の姿勢をアピールする狙い

2024年5月の日・ブラジル首脳会談を経て
「日・ブラジル・グリーンパートナーシップ・イニシアティブ（GPI）」
を立ち上げ



(2)

両国で「環境・気候変動対策」及びアグロフォレストリー推進を含む「持続可能な開発」を軸として、日本の技術活用による協力を通じて「戦略的グローバル・パートナーシップ」の一層の強化を図る

2025年3月の「日・ブラジル経済フォーラム」にて「日本とブラジルはともに気候変動問題と闘う頼もしいパートナーだ」と述べ、脱炭素の分野で両国の協力を強化していく考えを示す。

(1) 日・ブラジル首脳会談（写真出典 内閣広報室）

(2) 日・ブラジル経済フォーラム（写真出典 首相官邸）

2009

外務省・農水省・環境省 アグロフォレストリーシンポジウムにてプレゼン
「中南米マガジン」アグロフォレストリーの取り組み紹介



2010

関西大学「ラテンアメリカ経済とビジネス授業」トメアスのアグロフォレストリーをプレゼン
上智大学「ブラジル経済論」ブラジルとのビジネスに取り組む実践者として、トメアスのアグロフォレストリーをプレゼン
NFP NFPファンド組合員集会にてプレゼン
「グローバルネット」アグロフォレストリーワークショップの内容紹介

2011

エコ・アクション・ポイントの事業者認定
関西大学 ラテンアメリカ経済とビジネス授業 2回目の講演
上智大学 ブラジル経済論 2回目の講演
株式会社明治よりアグロフォレストリーのカカオ豆を100%使ったチョコレート発売
アグロフォレストリーによるBOPビジネス支援でJICAより採択
「朝日小学生新聞」アグロフォレストリー特集
「オルタナ」連載(2011~12)
①森編集長によるトメアス訪問レポート
②元サッカー日本代表中澤佑二さんと被災地支援対談
③明治とのアグロフォレストリーカカオの取り組みを明治部長と対談
④森編集長とグリーンエコノミーに関する対談
⑤PwCの磯貝様と長澤対談記事
⑥これからのソーシャルビジネスについて学生と長澤が対談



2012

帝国書院 中学校の社会科用ビデオ教材「世界の諸地域・日本の諸地域」情報提供
中央開発 農水省の「食料供給安定化国際農業連携対策事業」の一環で専門家として招致
環境省 Rio+20 ジャパンパビリオン Satoyamaイニシアティブシンポジウム
農水省 Rio+20 ジャパンパビリオン 農水省シンポジウム
東京農業大学 海外農業事情論(ラテン・アメリカ) 講演
上智大学 ブラジル経済論 3回目の講演
ブラジル中央協会 JICA名古屋中南米セミナー
IFC インクルーシブビジネス・リーダーズフォーラム
GIAHS 「世界農業遺産事務局定例会」に専門家として招致
環境省 Rio+20から考える「私たちが望む未来」～グリーン経済・社会にむけた新しいパートナーシップ～
関西大学 ラテンアメリカ経済とビジネス授業 3回目の講演
龍谷大学 グリーンエコノミーの事例として長澤よりアグロフォレストリーと多様性マーケティングについてプレゼン
NHK「おはよう日本」トメアス現地取材およびアグロフォレストリーの取り組み紹介
「ガイアの夜明け」アサイーブームとアグロフォレストリーの取り組み紹介
「環境会議」アグロフォレストリーBOPプロジェクトについて紹介
「朝日新聞」「読売新聞」アグロフォレストリーの取り組み紹介
NHK国際放送「ラジオジャパン」アグロフォレストリーの取り組み紹介



2013

外務省「次世代日系人指導者会議」ブラジル日系社会と実際にビジネスを展開する企業としてプレゼン

JETRO 日本市場向けFS調査の一環で長澤が専門家として招致

JICA中部、JETRO名古屋 中南米地域におけるビジネス展開の事例としてBOPのFS調査の内容をプレゼン

JICA中国、JETRO広島 中南米・日系社会を活用した民間連携セミナー

明治学院大学 環境共存型ビジネスの起業家として、起業の実体験や事業活動、グリーンエコノミーの取り組みをプレゼン

国連クラシックライブ協会によるアグロフォレストリーミュージカル上演

上智大学 ブラジル経済論 4回目の講演

農水省 環境共存型の持続的発展事例としてトメアスのアグロフォレストリーと事業内容をプレゼン

関西大学 ラテンアメリカ経済とビジネス授業 4回目の講演

調布市産業振興センター 起業の実体験や事業活動、グリーンエコノミーの取り組みをプレゼン

国際連合地域開発センター、JICA中部 アグロフォレストリーと多様性マーケティングの重要性についてプレゼン

札幌商工会議所 海外とのビジネスに取り組む経営者として実体験や事業活動、グリーンエコノミーの取り組みをプレゼン

NHK BS「地球テレビ エル・ムンド」長澤出演

フジテレビ「超潜入！リアルスコープハイパー」アグロフォレストリーの情報提供

JICA中部でベトナムから来日した研修生に対してフルッタフルッタの活動内容やCAMTAとの取り組みについてプレゼン



2014

「ニッケイ新聞」トメアス駐在所長紹介

東証マザーズ市場 上場

「神戸新聞」長澤のインタビュー掲載

JICA中部でベトナムから来日した研修生に対してフルッタフルッタの活動内容やCAMTAとの取り組みについてプレゼン

京都外大・関西大学でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン



2015

社会起業大学でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン

「日経新聞」CAMTAとフルッタフルッタ紹介

「経済界」長澤のインタビュー掲載

「NHK BS」アマゾンフルーツの生産現場紹介

「朝日新聞デジタル」アサイーと日系生産者およびトメアス駐在所長紹介

フェリス女学院大学でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン

「共同通信」長澤のインタビュー掲載

「財界」でトメアス紹介

「日刊ゲンダイ」長澤のインタビュー掲載

「日経ビジネス フロント」長澤・CAMTA専務のインタビュー掲載

「さぴあ」アグロフォレストリーの取り組み紹介

「日経産業新聞」長澤のインタビュー掲載



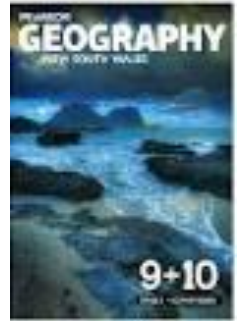
2016

「国際開発ジャーナル」トメアス駐在所長インタビュー

「学びゲート」アグロフォレストリーの取り組み紹介

オーストラリアの地理教科書「pearson giography stage 5」アグロフォレストリーの情報提供

関西学院大学高等部フィールドスタディーにてアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン



2017

バイオインダストリー協会勉強会でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン

企業が語るいきものがたり分科会でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン

「ベンチャータイムズ」アグロフォレストリーの取り組み紹介

コロッキオ開催 一般ユーザー向けに創業以来ミッションとしてきた社会貢献型ビジネスセミナーを展開

サステナブルブランド国際会議出展

「サステナブルブランドジャパン」長澤のインタビュー掲載

関西学院大学高等部フィールドスタディーにてアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン



2018

「Wiz Biz」ネットラジオで長澤へのインタビューを配信

「生協流通新聞」アサイーおよびアグロフォレストリー紹介

サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアムにてGOOD FOODとアグロフォレストリーについてプレゼン

関西学院大学高等部フィールドスタディーにてアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン

ラジオ日経「マーケットプレイス」長澤のインタビューを配信

フェリス女学院大学でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン

日伯協会でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン

2019

洋菓子技術研究会でアマゾンフルーツとアグロフォレストリーについてプレゼン

「アサイーの日」制定 日本からアマゾンへ渡った日本移民が
産業化に成功した功績を称えて日本での記念日を制定

「キャピタルアイ」長澤と役員のインタビュー掲載

西宮市「ロンドリーナWEEK」でアサイーとアグロフォレストリーについてプレゼン



2020

TBS「Nスタ」アグロフォレストリー紹介

トメアスカカオが産地認証を取得 実質的なアグロフォレストリー認証となる

関西大学でアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン



2021

日伯移民記念イベントでアグロフォレストリーと日系人の関りについてプレゼン

FMラジオ「COCORO」アグロフォレストリーの取り組み紹介

NHK BS CAMTAおよびカーボンクレジットの取り組み紹介

文溪堂出版「SDGsを実現する2030年の仕事未来図」アグロフォレストリーの取り組み紹介

フェリス女学院大学にてアグロフォレストリーマーケティングについてプレゼン



2022

高等教育用教科書「わたしたちの地理総合」にアグロフォレストリーの情報提供

フルッタフルッタオンラインショップでCO2削減量の提示



2023

日経新聞「ネクストカンパニー」でCO2削減マークの取り組み紹介
TNFD(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures) 参画
学研「ゆるゆる図鑑・アマゾン展」に展示協力
「社長のミカタ」長澤のインタビュー掲載
コーポレートサイト アグロフォレストリーのページリニューアル
SDGsメディア「スペースシップアース」アグロフォレストリーの取り組み紹介
CO2削減マークをアサイーエナジーに表示 飲料業界初の試み
エシカルイベントMoFF2023で長澤がトークセッションに登壇
日本食糧新聞セミナーに長澤に登壇 アグロフォレストリーの取り組み紹介
U.S.M.H.社のレトルト食品にCO2削減量マークを表示
「エコプロ2023」出展 アグロフォレストリーやCO2削減量可視化の取組みを紹介
映画「Perlimps」の監督とアグロフォレストリーについて対談
アグロフォレストリーの紹介動画をリニューアル
「マネ会」長澤のインタビュー掲載



2024

note 投稿開始 アグロフォレストリーやアサイーについての発信を強化

「庭」でアグロフォレストリー紹介

ラジオ日経「マーケットプレイス」長澤のインタビュー配信

「日本食糧新聞」長澤のインタビュー掲載

「ブラジル日報」長澤のインタビュー掲載

サステナビリティレポート2023公開 自然資本主義経済の実現に向けた取り組みと目標の発信

SHIBUYA109でアサイーの日イベント開催 アグロフォレストリーの情報を消費者に周知



教育機関における講演 学習協力実績

大学

跡見学園女子大学、関西大学、京都外語大学、神戸女学院大学、国連大学、上智大学、専修大学、中央大学、東京大学、東京農業大学、フェリス学院大学、武蔵大学、明治学院大学、明治大学、立命館大学、龍谷大学

高校

大島海洋国際高等学校、関西学院千里国際高等部、翔凛高等学校、中央大学杉並高校、桐蔭学園高校、明治大学付属高校

中学校

各務原市立那加中学校、諏訪市立上諏訪中学校



本資料におけるご説明に含まれる将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や国内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社により何らかの行動を勧誘するものではありません。日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。投資のご検討にあたっては、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

IR室

ir@frutafruta.com

公式お問い合わせフォーム

https://www.frutafruta.com/ir_info/ircontact/

